

【新積算システム版】工事設計書の印刷方法について

設計書は請負金額にほぼ比例して厚くなることから、設計書の厚さを軽減することを目的に、「2アップ両面印刷」を実施すること。詳細については、下表のとおり。

作成資料	印刷方法
①設計書表紙	片面印刷
②変更理由書(※1)および工事総括表	片面印刷
③設計内訳書(本工事、附帯工事)	2アップ両面印刷
④諸経費内訳(共通仮設費内訳、現場管理費、一般管理費等)	2アップ両面印刷
⑤積算参考資料(間接費補正一覧)	2アップ両面印刷
⑥間接費一覧	2アップ両面印刷
⑦一式当り内訳書	2アップ両面印刷
⑧単価表	2アップ両面印刷
⑨登録単価	2アップ両面印刷
⑩入力データリスト(金入り)	2アップ両面印刷
⑪その他必要な資料(登録単価根拠資料等)	両面印刷
⑫特記仕様書(※2)	両面印刷
⑬工事数量総括表	2アップ両面印刷
⑭参考資料表紙(※2)	片面印刷
⑮積算参考資料(間接費補正一覧)(※3)	2アップ両面印刷
⑯金抜き設計書(③, ⑦, ⑧)	2アップ両面印刷
⑰入力データリスト	2アップ両面印刷
⑱金抜き登録単価根拠資料 (物価資料掲載単価以外は金入りを可とする。)	2アップ両面印刷
⑲数量計算書(数量集計表、詳細数量計算書)※2	両面印刷
⑳図面(位置図、平面図、縦断図、標準横断図、横断図、一般図、構造図等)	片面印刷

※1 設計変更がある場合のみ添付。

※2 ⑫特記仕様書、⑭参考資料表紙、⑲数量計算書は表向きとなるよう調整すること。

※3 ⑮積算参考資料は金入り設計書(⑤)と同じ。

◇注 印刷方法は上表を原則とするが、文字等が不明瞭な場合は適宜取り扱ってよい。